

## CONTENTS



- 2/3 情勢 位置と工法を巡って
- 名護市民集会
- 第1次署名提出
- 辺野古アセス第5回公判
- 4/5 特集・じゅごんの里ツアー報告
- 6/7 COP10 に向けての取り組み
- 8 鳥羽水族館ツアー報告

戦後 65 年の 3 月 26 日。私は阿嘉島の帰りのフェリーで、韓国軍哨戒艦が爆発沈没したとのニュースを見た。即座に 9.11 を思い出し、又しても死の商人達の仕業に違いないと思った。何故なら李明博大統領には、太陽政策で巻き返しを図る野党を統一地方選で制し、軍事政権を盤石にしなければならない下僕の任務があったし、それを死の商人達は操作して支援しなければならない、そんな時機にあったからである。一方下僕自民党から鳩山民主党政権に替わった我国では、理想を掲げる鳩山を自由に羽ばたかせながら、外務、防衛大臣を恫喝して下僕にすることに成功。迷走する普天間基地移設問題を辺野古案に戻す為のさらなる営業努力として、北朝鮮脅威論を扇ぎ、米軍の抑止力の正統性を日本人に認めさせなければならないという難題を抱えていた。この絶妙なタイミングで哨戒艦事件は起きたのである。李明博は米英を加えた軍民合同調査団に事件の原因究明を委ね、その最終報告がなされたのは 5 月 20 日であった。

## ジュゴンこそ戦争の抑止力！ SDCC 共同代表 海勢頭 豊

ソウルのホテルでそのニュースを見ていた私は、思わず苦笑した。それは 9.11 にペンタゴンに突っ込んだはずのダグラスの機体がどこからも発見されなかったこととは逆に、大型哨戒艦を真っ二つにした爆発力にも関わらず、北朝鮮の魚雷の部品であるとして出された証拠品が、あまりにもきれいに揃い過ぎていたからだ。抑止力の塊であるはずの米韓合同演習中に起きたこの事件。どうやら米潜水艦が座礁した哨戒艦に衝突して二隻とも沈んだというのが真相らしい。そのことを調査団員であったサン・チュル氏の勇気ある告発によって我々の知る所となったが、恥ずべきなのは 9.11 の時の小泉同様に、鳩山・菅と続いた民主党政権が、いともたやすく死の商人の策略に乗っかり、辺野古に舞い戻って日米合意をした、その臆病で愚かな事実なのである。レベルの低さにジュゴンも笑っていると思う。

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)

と知ろうつ」

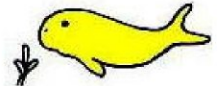


講演会「多様性の海を知ろう」で辺野古・大浦の山から海の様々な命のつながりを紹介するダイビングチーム「すなっくすナフキン」のスタッフ (7面)



情勢

# 辺野古への基地建設を断念させよう



5/28 名護市民集会 名護市役所中庭に 1200 名

参議院選挙で民主党が大敗しました。川柳「消費税『政治とカネ』の蓋(ふた)にする」は、選挙中に新聞投稿されたものです。唐突な菅首相の消費税発言は、普天間飛行場移設や政治とカネの争点隠しだと受け取られていました。沖縄選挙区に民主党候補を出せず、民主党県連代表の喜納昌吉議員(全国比例区)は落選しました。民意を無視する政治に厳しい審判がなされたのです。沖縄選挙区で再選した自民党・島尻議員も県外移設といわざるを得なくなっています。

8 月末までに名護市辺野古岬周辺で、代替施設の位置や配置、工法などを決めると日米合意しています(5 月 28 日)。菅首相は 6 月サミットでオバマ大統領に日米合意実施を約束しました。

しかし、7 月 9 日沖縄県議会が満場一致で日米共同発表の見直しを求めました。仲井真沖縄県知事は「地元の反対を押し切って凶面を書いても無理」としています。稲嶺名護市長は協議には応じないと断言し、宜野湾市長は普天間飛行場を米国に提供する合意は無効との憲法裁判を準備しています。11 月 28 日沖縄知事選挙を前に、代替施設建設のめどを出すことができる政治状況にはありません。

9 月 12 日が名護市議会選挙です。稲嶺市長を支える市議会多数派を実現することは、基地ではなくジュゴン保護区を実現するためにも重要です。10 月 18 日から名古屋市内で生物多様性条約第 10 回締約国会議(COP10)が開かれます。沖縄ジュゴンをはじめ絶滅の危機にある種の保護に後ろ向きな日本政府に、議長国の資格を問う取り組みも始まっています。10 月 4 日から 6 日までアラブ首長国連邦(アブダビ)で、ジュゴン保護協定国際会議が開かれます。政府間会議ですが、SDCCも参加して沖縄ジュゴンを巡る情勢を報告します。ジュゴン生息国とともにCOP10で、日本政府にIUCN決議の履行とジュゴン保護協定への参加を求めていきたいと思っています。COP10後には、署名「基地ではなくジュゴン保護区」の第 2 次提出を行います。辺野古への基地移設の断念にむけて正念場です。

## 名護から

## 市民集会とその後の名護



去った5月28日、普天間基地の移設先を「辺野古」と明記した「日米共同声明」に抗議すべく、名護市では「『辺野古合意』をみとめない緊急集会」が開かれました。ジュゴン保護を訴えるSDCCにとっても、大切な集会でした。

名護市役所の中庭に集まった市民の数は1200人。傘の波と「怒」の文字が、「共同声明」と鳩山政権に対する失望と怒り、そして基地建設反対への新たな決意を表していました。そしてこの集会の先頭に立ち、憤りと悔しさをにじませながらも「名護に基地は作らせない」「基地に頼らないまち作りを」と訴える稲嶺進市長に、市民は大きく勇気づけられました。その後、鳩山首相の退陣、福島大臣の罷免、管政権の誕生と中央がめまぐるしく変わり、移設問題への本土メディアの関心も薄らいでいます。



市民集会で発言する稲嶺市長(5/28)

しかし名護市ではそのような状況に怖ることなく「移設反対」の声は続いています。沖縄県議会も7月9日に「日米共同声明」の撤回を求める決議を全会一致で可決しました。

しかし一方で「共同声明」を受けて、辺野古移設容認の人々が動きだしていることも事実です。去った6月には、野党が多数を占める名護市議会で「辺野古移設／共同声明容認」の決議案が提出されるのではと心配されました。結果的にはそのような案は提出されませんでした。9月の名護市議選挙とも関連して、緊張した状況は続くと思えます。

SDCCには、今回の「ジュゴンの里」ツアーで示したように、名護市の「環境を基盤にしたまち作り」への具体的な支援や提案をする役割が求められているのではないのでしょうか。(吉川秀樹 名護市在住)

報告

# 首相官邸前行動に参加



5/14,28,6/4,11,18 首相官邸前行動に参加しました。SDCC からは、毎回数名が参加しました。参加団体のアピール、現地からの報告が続ぎ、要請文の提出、合間に全員でシュプレヒコールをあげて終了します。現地からの報告は声だけでしたが、切々と語られる内容に胸が熱くなりました。

SDCC は手作りの横断幕とジュゴンのぬいぐるみを持ってアピールしました。ジュゴンのぬいぐるみのかわいさに、多くの方に関心を寄せて頂き、写真も沢山撮影して頂きました。

民主党は期待はずれ、鳩山政権から菅政権に変わり、辺野古の美しい海の先行きには不安ばかりです。、その海に依存して生活しているジュゴン、声をあげてアピールも出来ず、海が荒れてしまえば絶滅してしまう事しかアピールする事が出来ないジュゴン。首相官邸前行動は一時休止していますが、再開されれば、そういうジュゴンに代わって、政府に対してアピールを続けていきたいと思ひます。(西村秀樹)



ジュゴンに代わって「怒」(首相官邸前にて)



参議院選挙後の7月14日、那覇地裁で第5回公判がありました。事前集会では弁護士から公判の重点が報告され、今後の運動方針を検討するために、7月25日那覇、31日名護でアセス裁判学習会(那覇、名護)が開催されることになりました。また、9月12日投票の名護市議選で、稲嶺市長支持の議員を半数の14人当選させるための闘いが始まっていることも紹介されました。

公判では、原告側弁護団から環境アセスで意見を述べる権利は広く認められるべきであると陳述しました。そして、原告が求めている求釈明に国が一切応えず、環境アセスは裁判になじまないと門前払いを求める主張をしていることに抗議しました。裁判所は8月末に普天間移設の位置、工法が決定されるが、これが国の決定になるのかと注視しています。この動き次第では裁判の進行協議の行方も変わってきます。しかし、損害賠償のこともあるので、次回裁判は9月8日(水)午前11時になりました。

## 署名提出しました!

第1次 3万524筆



5月28日、「基地ではなくジュゴン保護区」を求める署名 3万524筆(第1次分)と、2008年国際自然保護連合(IUCN)の参加者から集めた賛同署名 93カ国 1749筆を環境省、外務省に提出しました。

この日は、普天間基地移設に関する日米共同声明が発表される日でもあり、マスコミ各紙は前日からSDCCの署名提出を記事にするなど注目していました。当日は本土のマスコミ各紙も取材に参加し、翌日の記事にしました。

環境省ではアラブ首長国連邦で開かれるジュゴン保護協定国際会議(10月4日~6日)への参加とジュゴンを種の保存法にただちに指定することを求めました。ジュゴン保護協定国際会議は情報交流を目的とする政府間会議で、2008年IUCN決議にもとづき日本政府の参加が求められています。種の保存法の指定も、2004年7月に選定要件に該当すると小泉内閣で決定しています。

しかし、環境省は普天間基地の移設問題を意識して、逃げ口実を探し回るといふ態度に終始しました。外務省では、発表された日米共同声明が「ならん自民党の現行案と変わらない」と怒りがぶつけられました。

10月生物多様性条約COP10(18日~29日)で沖縄ジュゴン保護を焦点化させるために、スタッフをジュゴン保護協定国際会議にオブザーバー派遣します。また、11月に第2次署名提出を行うことで、日本政府にCOP10議長国の資格を問いただしたいと思ひます。

# 報告 じゅごんの里ツアー



船をとめて海草藻場を観察(7/3)



辺野古の浜にて(7/3)



## 胸打たれた武龍君のスピーチ

3日間のツアーとは思えないほどの盛りだくさんの内容で、大変楽しく充実した時間を過ごすことができました。SDCCの皆様、本当に有難うございました！

どこまでも続く紺碧の海と空、鬱蒼とした木々が生い茂るやんばるの森。沖縄の大自然に身も心も洗われ、新たなエネルギーが湧いてまいりました。

ツアー中最も印象に残ったこと、それは5年にわたり毎週土曜日にキャンプシュワブゲート前で「ジュゴンを守ろう」の横断幕とピース・キャンドルを掲げ続けている渡具知さん一家の存在です。長男の武龍君がバーベキューパーティの席上で朗々と謳いあげた「青年の主張」は、彼の地元である辺野古への熱い想いが真っ直ぐに伝わってきて、胸を打たれました。彼らの長年の夢、願いをかなえるためにも、本土の我々にできることを精いっぱいやろう。そう決意した瞬間でした。来年の再訪を楽しみに、日々の活動を頑張っています！

(大島朋子)

## 参加者より

第5回になるじゅごんの里ツアーは、全国から24名が参加しジュゴンの棲む沖縄の自然を満喫しました。今年は非常に重要な情勢の中でツアーが取り組まれました。1月に辺野古への基地建設に反対する稲嶺市長が当選したこと、6月には日米共同宣言が出され辺野古への基地建設が再び浮上しました。このような情勢だからこそ、現地に行き自然に触れ、地元の方と交流することはとても大事です。

3日にじゅごんの里代表の東恩納琢磨さんのポートで、辺野古・大浦湾に向かいました。午前中は大浦湾の海を楽しむ予定でしたが、先日の大雨の影響で海が濁っていて、アオサゴ・クマノミ城はNGです。平島近くのハマサゴをシュノーケリングで見学した後、平島にてランチを取りました。

午後からは、辺野古テント村を訪問し交流、ジュゴンの見える丘を見学、毎週土曜日に行われているキャンプシュワブゲート前でキャンドル行動に参加。と内容の濃い一日でした。

夜は民宿でバーベキュー。この場で二見以北十区の会の渡具知さん一家と交流しました。武龍君の「名護市青年の主張」に発表予定の感動的なスピーチがありました。「学校で先生が指導してくれた。私は内容には関わっていない。今まで学校ではこういう事はできなかったけど、今は先生方が関わってくれる」(渡具知さん)と地域のつながりを感じました。

3日間を通じて、やんばるの自然・人とのつながりを実感し、この自然を生かした村おこしこそじゅごんの里の目指すものだと思います。(三村昭彦)



キャンプシュワブ前ピースキャンドル行動(7/3)

## ー沖縄と台湾の連帯をー

今回のジュゴンツアーは、私の初沖縄です。台湾からわざわざフライト一時間でいけるのに、沖縄は私にとって近くて遠い存在でした。しかし、大国のアメリカと日本の間に挟まれるウチナーンチュが背負っているものは、似たような環境に置かれている台湾人の私にはよくわかります。ツアー途中、うれしくも琢磨さんや吉川さんと語り合うことができました。話してみたら、やはり沖縄は台湾と一緒にだなど何度も思いました。

大浦湾の絶好な海景色や、精気に溢れるやんばるの森は、人間が勝手に線を引いてテリトリーを決めるような場所ではありません。手と手をつないで、みんなで一緒にその素晴らしさを体感すべきなのです。沖縄と台湾のつながりを深めるために、来年も現地集合でツアーに参加したいと思います。

(陳 炯霖 ダン・ギンリン)



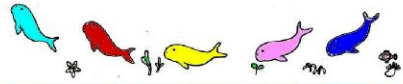
# 名護市長激励訪問

## 保護区作りの第一歩

今年1月、名護市に基地建設反対を掲げた稲嶺市政が誕生しました。稲嶺市長の『地方分権』『民主主義』『平和』のもと、基地に頼らない街作りをしよう「農業の再生、環境を大切に観光の発展を」という主張は、SDCCの「基地ではなく保護区を」と繋がるものです。ぜひ市長を激励したいと、ツアー初日に東恩納琢磨・名護市議会議員の紹介で名護市役所を訪問しました。

出張中の稲嶺市長に代わって出迎えてくださった教育長さんは、自然を愛する方で、自ら撮影されたヤンバルの自然の写真を見せてくださり、「名護市は基地で有名になってしまったが、自然の素晴らしいところです。名護市にしか出来ないまちづくりで、有名になりたい」とおっしゃっていました。

本土で集めたメッセージカードなど激励物をお渡ししたところ「しっかりと市長に届けます」と力強く約束され、この訪問が保護区作りの第一歩になったことを実感しました。(山根富貴子)



比嘉教育長に激励タペストリーを渡しました(7/2 名護市役所)

# 高江のテント村訪問!

じゅごんの里ツアー2日目、辺野古の海へ出かける人とは別にスタッフ4名で東村にある高江のテント村を訪問しました。高江は6箇所の米軍ヘリパッド建設が始まっていますが、3月～6月はヤンバルクイナの繁殖期に当たるため、那覇防衛局(以下那覇防)も工事は控えておりました。7月から行うという那覇防の宣言もあり、緊迫したムードが漂っている中での訪問となりましたが、7月11日の選挙をにらんでか、なんの音沙汰もなく平穏に時は過ぎておりました。テント村には今回のツアーメンバー他いろんな人達から集めた寄せ書きを贈りました。早速テント内に飾っていただきました。高江には応援に駆けつけた人が何人もあり、いろんな方のお話を聞くことが出来ました。地元以外にも本土からも応援に駆けつけてくれている方もあり、何日も寝泊りしながら応援する姿には頭が下がります。毎日続くことを考えると1日でも早く終わってほしいと願わずにはおれません。これからは選挙後の那覇防の動きが気になります。



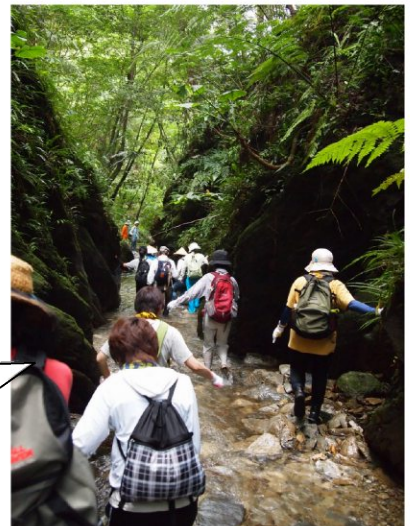
高江テント村にて(7/3)



### PHOTO

平島に上陸し、東恩納琢磨さんから辺野古大浦湾の説明をしていただきました。(7/3)

浦島悦子さんの案内で、国頭村の清流、奥間川を歩きました。マイナススイオン一杯です!(7/4)



# COP10にむけての取り組み

## 生物多様性条約国際会議をめぐる動き

生物多様性条約（CBD）第10回締約国会議（COP10）は10月18日から29日まで名古屋で開催されます。5月下旬にナイロビで準備会合があり、2010年以降の戦略目標が議論され、「生物多様性の10年（2011年～20年）」として生物多様性の損出を止めるために効果的かつ緊急な行動を実施することが勧告されました。

私たちは2008年IUCN（国際自然保護連合）第4回世界自然保護会議での決議「2010年国連国際生物多様性年におけるジュゴン保護の推進」をふまえて、昨年10月には1年前イベントとして名古屋で海勢頭豊コンサートとセミナーを開催しました。このセミナーに参加した名古屋のグループや沖縄・BDネットとともに、COP10での取り組みを準備しています。

COP10は名古屋国際会議場で開かれ、隣接する白鳥地区で交流フェアとしてNGOなどのブースが開設されます。SDCCはこのブースで沖縄ジュゴンの保護区づくりとジュゴン保護協定への参加をキャンペーンし、23日（土）午後にはブース横にある名古屋学院大学でフォーラム「沖縄ジュゴン保護と国際責任」を開きます。フォーラムは10月4日からアブダビで開催されるジュゴン保護協定国際会議の報告です。翌日24日（日）には名古屋公会堂でIUCN親善大使イルカさんのコンサートに参加します。

名古屋のグループはオープニングの前日17日（日）午後には国際会議場に向けた1000人パレード、22日（金）夜に沖縄基地問題を訴えるライブとトーク、23日には沖縄・宮森小学校の米軍機墜落事件の演劇などを準備しています。

5月22日生物多様性の日に



「祝☆生物多様性の日パレードon御堂筋」を開催しました!

約120名の仲間が集まり賑やかに御堂筋を歩きました！“生物多様性って何だろう？”現在、種の絶滅が猛スピードで進み、生物多様性が失われている。自然とのつながり、命のつながりが都会ではなかなか感じられない。ジュゴンのすむ辺野古の海、高江のやんばるの森、残り少ない美しく貴重な自然。かけがえの無い“宝物”を守っていききたい！私たち人という種も、豊かな海、森があってこそ生きていけるのだから。

実行委員会を立ち上げ、「熊の住める森を再生しよう」「熱帯雨林を守ろう」「上関原発を止めよう」「みどりの政治を」「安心できるコミュニティを」と様々な活動をする仲間が集まり、話し合いながら準備を進めました。当日はお天気も良く楽しいパレードになりました。みんな思い思いに仮装し、メッセージを発信し、歌あり、楽器ありアピール度抜群でした！沿道の人たちの関心を集めましたよ！SDCCは着ぐるみジュゴンに紅型衣装、折り紙ジュゴンにバナーを持って思いっきりメッセージを発信しました。パレードの様子が新聞に掲載され、テレビニュースにも流れました。「辺野古・大浦湾 生き物の宝庫の埋め立てNG」のプラカードが大きく映し出され、大いにアピールできたと思います。



お知らせ

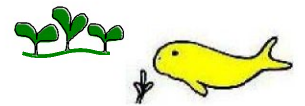
参加者募集中ー！

バージョンアップして第二弾やりますよー！！9月4日に「つながるすべてのいのちのために～生物多様性と私たち」というテーマでシンポジウム、5日には『第2回生物多様性パレードon御堂筋』です。“生物多様性”の思いを深め、仲間の輪を広げていきたいと思っています。ぜひ、一緒に御堂筋を歩きましょう！（詳細はHPをご覧くださいね）



報告

# 沖縄・高江座りこみへの道



6/12 東京の早稲田大学で行われたトーク集会にブース参加しました。高江とは沖縄北部（辺野古からさらに約1時間のところ）緑の原生林が広がる山原（ヤンバル）はヤンバルクイナや希少生物の宝庫で、通称ブロッコリーの森と言われています。

人口約160人の小さな集落・高江で2007年7月から1日も休むことなく座り込みが続いているのです・・・ここでは米軍ヘリパットの建設が進められようとしています。辺野古への基地移設問題は少しは全国区で報道されるようになりましたが、この高江のヘリパット建設問題はほとんど報道されていません。高江でも住民の声を踏みにじり国は米軍基地建設を進めています。一時中断されていた工事を参議院選挙後に再開すると明言しています。高江の座りこみテントでは、また緊張の日々が始まると、一人でも多くの人に高江で起きている状況を知ってもらい、座り込みに参加してほしいと、この集会の為に上京された高江住民の方が話されていました。

ヤンバルの森はじゅごんの里ツアーでも山歩きで訪れます。川の水は澄んでいて、森の空気は最高！今年は天然記念物のリュウキュウヤマガメにも出会えたり、素晴らしい場所です。ヘリパットも基地もいらない、生物多様性の宝庫沖縄の自然こそ宝物だよ。（小平裕美）



早稲田大学で行われた高江トーク集会



リバティエー大阪での写真展。中央ではDVD「ジュゴンの海」も上映されました。

## 写真展—なぜ？なに？生物多様性



4月20日から5月23日まで、なんとひと月もの間、大阪人権博物館（リバティエー大阪）で「なぜ？なに？生物多様性——地球といきものの写真展」の共催展をさせていただきました。今年は国連の国際生物多様性年で、日本でCBD-COP10が開催されることを背景に、リバティエー大阪が生物多様性とCOP10、そしてその中で沖縄のジュゴンのことを取り上げた写真展を共催して下さいました。前半はSDCCスタッフが沖縄で撮りためた自然や生きものの写真を展示、パネルを用いて生物多様性の現状や人の生活にとってその保全の重要性を分かりやすく説明し、後半で具体的な取り組みの例として、北のアザラシと人々の暮らしの紹介（倉沢さんの写真を使用）、そして南の沖縄のジュゴンの状況を紹介しました。

期間後半は、自然や生きものの写真をダイビングチームすなっくスナフキンさんの「大浦湾の生き者たち」の写真に入れ換え、さらに迫力満点の展示となりました。最終日はスナフキンのスタッフの方に来阪戴き、講演会も行いました。地域のケーブルテレビでも取り上げられ、期間中約2300人の来館者が訪れた博物館での展示で、多くの方々に沖縄のジュゴンの事を知ってもらう機会を作ることができました。—海勢頭 聖—



## 高槻本澄寺ライブ

6月6日、大阪・高槻にある本澄寺（詩人の三好達治記念館がある）で、「歌と踊りのジュゴンライブ」が開かれました。今回のライブは、海勢頭豊バンドなどジュゴンでつながる4グループ・個人で構成されました。ライブが始まる前にSDCCから、沖縄のジュゴンの現状や活動について報告し、7月ジュゴンの里ツアーで訪問する名護市長への激励メッセージカードを呼びかけました。海勢頭豊さんは、国際自然保護連合（IUCN）のために作曲した「ザンの海」「ジュゴンの歌」「サン」などを熱唱して、名古屋で開かれるCOP10にむけて「基地ではなくジュゴン保護区をつくるのが重要な時」と熱く訴えました。

# 鳥羽水族館ツアーに行ってきました

5月15、16日に鳥羽水族館ツアーに行ってきました。参加者はスタッフを含め20名。今回のツアーでは南山大学の目崎茂和教授に2日間ともガイドをして頂き、とても内容の濃いツアーになりました。

初日は鳥羽水族館の見学です。まずは目崎先生から「生物多様性の宝庫沖縄とジュゴン」をテーマに貴重なお話を聞かせていただきました。次にバックヤードを見学しました。水族館で一番大きな水槽を上から覗いたり、動物たちのご飯の用意をするための調理室、食材を保管している-25℃の冷蔵庫に入ったりなど、貴重な体験しました。その後はジュゴンの水槽前へ移動し、とってもかわいいジュゴンのセレナ、じゅんいちと対面。優雅に気持ち良さそうに泳ぐ姿は長い時間眺めていても全く飽きません。そしてツアー当日15日は「ジュゴンの日！」と言うことで、館内見学の際には「2010年ジュゴン年・毎月15日はジュゴンの日」と書かれたバナーを持って一般のお客様さんにしっかり宣伝してきました。

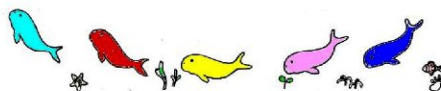
翌日は伊勢神宮を参拝しました。「2010年ジュゴン年、ジュゴンの棲む沖縄の海の生態系が守れますように」お祈りをして無事にツアー終了。参加して頂いた皆さんありがとうございました。(鈴木陽子)



ジュゴンといっしょに記念撮影



やっぱり、かわいい・・・



## ★ ご案内 ☆

### ☆ 平和と民主主義をめざす全国交歓会 (全交)

- ・ 7月31日(土) 8月1日(日)
- ・ 大阪 エルおおさか(地下鉄谷町線、京阪天満橋駅下車5分)
- ・ SDCCは7月31日(土) 9:00~12:00 エルおおさか研修室2で分野別討議⑦「基地ではなくジュゴン保護区を COP10 にむけて」を開催します。

### ☆ 生物多様性シンポジウム&パレード

- ・ 9月4日(土)シンポジウム  
～生物多様性と私たち～  
大阪 弁天町学習センター 講堂 18:15～
- ・ 9月5日(日)生物多様性パレード ON 御堂筋  
14:00 大阪 新町北公園(厚生年金会館南側)集合  
15:00 パレード出発 なんばへ  
16:00 難波 難波公園到着 ライブ・交流(予定)

### Editor's Note

じゅごんの里ツアー3日目の7/4、奥間川でリュウキュウヤマガメに出会いました。人の気配にびくびくして、首を引っ込め気味にしてじっと様子をうかがっています。びくびくさせてごめんね。君たちもずっと静かに暮らせるようがんばるからね。(M)



リュウキュウヤマガメ

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.51 2010年7月18日発行  
 ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)  
 Tel/Fax 03-5228-1377 〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1  
 第1千代田ビル301 なかま共同事務所内  
 ○ <http://www.sdcc.jp/> ○ [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)  
 (関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302  
 TEL/FAX 06-6353-0514

